

風力発電による漁港施設の電力費用の負担軽減

<概要>

- 事業実施主体： はさき漁業協同組合
(茨城県神栖市(波崎漁港内))
- 発電設備： 風力発電

	1号機	2号機
発電出力	1,000kW	1,990kW
発電電力量	250万kWh/年	520万kWh/年
建設費	約2億7千万円	約6億5千万円
運転開始時期	平成17年4月	平成29年3月

<特徴>

- 平成10年、旧波崎町(現神栖市)が、浜風を活用した風力発電を検討。漁港の製氷工場の附帯施設として建設。
- 漁港内に建設するため、回転する翼の影や騒音が民家へ与える影響はなく、地域調整が円滑に進んだ。
- 水産庁の補助金を活用した1号機の実績により信頼を得られたため、2号機の建設にかかる地域調整や日本政策金融公庫からの資金調達が可能となった。
- 風力発電による売電収入により漁港施設(製氷工場、荷捌き施設、岸壁照明)の電力費を相殺。漁協の経営が安定したため、ハマグリ稚貝放流の経費を補助するなど、組合員に還元。
- 水産品の包装に風車の写真を使用し、産地のPRに活用。

※ 2号機について、農山漁村活性化再生可能エネルギー事業化推進事業(H25)において支援



漁港内に建設された風車



風車の写真を起用した水産品のパッケージ

